

教員を志望する学生 各位

宮城県総合教育センター所長から、別紙のとおり宮城県教育委員会主催「令和5年度長期研修員研究発表会」について案内がありました。

教員を志望する方で、参加を希望する場合には、各自、下記によりお申込みくださいますようお願いいたします。

1. 申込方法

別紙の実施要項に記載の2次元コードにより表示される Google フォームにてお申し込みください。

2. 申込期限

令和5年12月11日（月）

令和5年度長期研修研究発表会実施要項

1 目的

本県の教育課題の解決に向けた長期研修員による実践的研究の成果を広く教育関係者に公開し、その理解と普及を図ることにより、教育活動の充実・発展に役立てる。

2 主催

宮城県教育委員会

3 対象

県内の公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員（仙台市立学校を除く）、教育行政機関の職員、その他所長が参加を認めた者。

4 期日及び実施形態

令和6年2月8日（木） 集合型
 令和6年2月8日（木）～22日（木） オンデマンド型（ホームページでの動画視聴）

5 会場（集合型）

宮城県総合教育センター（宮城県名取市美田園二丁目1-4）

6 時程

9:00	10:00	10:50	11:30	13:00	13:35	15:15	
9:45	10:30	11:20	12:00	13:25	15:10		
受付	開会行事 【全体会】 【専門研究】 各研究グループの概要説明	【分科会Ⅰ】 【専門研究】 研究内容の発表及び質疑応答 (1回目)	【分科会Ⅰ】 【専門研究】 研究内容の発表及び質疑応答 (2回目)	昼食休憩	【分科会Ⅱ】 【課題解決研修】 専門研究グループ 2年目の取組の発表及び質疑応答	【分科会Ⅲ】 【実践力向上研究】 研究内容の発表及び質疑応答	閉会行事
1階	3階 第1、2、3、4、9研修室						

7 発表者

令和5年度 専門研究 20名（グループ発表）、 実践力向上研究 14名（個人発表）
 令和4年度 専門研究 20名（グループ発表）、 実践力向上研究 15名（紙上発表）

8 申込方法

(1) 宮城県内の市町村立学校及び県立学校の教職員等
 受講管理システム（Mナビオンライン）からお申し込みください。※下記の2次元コードからの申込みではありません。

(2) 宮城県外の教職員等及び(1)以外の方
 2次元コード（またはURL）により表示されます Google フォームにてお申し込みください。
 申込締切は令和5年12月11日（月）です。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeIy4nYtC5LsiwADrgBydKx0aKUAb7JcPfvYlofPJVcV5Y58g/viewform>



9 その他

- (1) 参加形態の希望については、申込時に Google フォームで受け付けます。県内教職員については、受講管理システム カリキュラム情報に記載の Google フォームにて参加形態を選択してください。
- (2) 申込みをされた方には、発表会ホームページの情報を登録されたメールアドレス宛てにお知らせします。
- (3) 当日の資料等は発表会ホームページよりダウンロードしてご覧ください。

時程及び会場

時間	会 場					
	内 容	第 1 研修室	第 2 研修室	第 3 研修室	第 4 研修室	第 9 研修室
9:45 ～9:55	【開会行事】 全体会	一般参加者		所員	研修員	
10:00 ～10:30	専門研究の研究 概要 (各 5 分)	専門研究 (1) 探究的な学習研究グループ (2) 生徒指導研究グループ (3) 理科教育研究グループ (4) 教育の情報化研究グループ (5) 特別支援教育研究グループ				
休憩・移動						
時間	分科会Ⅰ	分科会①	分科会②	分科会③	分科会④	分科会⑤
10:50 ～11:20	専門研究グループ の発表 (1 回目) (15 分) 質疑応答 (10 分) 感想フォーム記入 (5 分)	探究的な学習 研究グループ 佐藤 希利子 伊藤 剛 横山 亮 山田 直人	教育の情報化 研究グループ 櫻井 大志 五十嵐 学美 菅原 翔太 小澤 裕佳子	生徒指導 研究グループ 原 勇太 成瀬 郁恵 本田 祥大 佐藤 文	特別支援教育 研究グループ 佐藤 博徳 森 大造 細川 千春 村上 加奈子	理科教育 研究グループ 佐藤 貴宏 千葉 明 横田 英里 後藤 正憲
休憩・移動						
11:30 ～12:00	専門研究グループ の発表 (2 回目) (15 分) 質疑応答 (10 分) 感想フォーム記入 (5 分)	探究的な学習 研究グループ	教育の情報化 研究グループ	生徒指導 研究グループ	特別支援教育 研究グループ	理科教育 研究グループ
昼食・休憩・移動						
13:00 ～13:25	分科会Ⅱ 課題解決研修 R4 専門研究グルー プの発表 (15 分) 質疑応答 (5 分) 感想フォーム記入 (5 分)	探究的な学習 研究グループ 中村 希 高橋 司 佐藤 祐司 山岸 崇	教育の情報化 研究グループ 齋藤 裕直 原 健一郎 小野寺 陽 鈴木 寛之	生徒指導 研究グループ 舟山 武 菅原 麻衣子 宇都宮 康弘 鈴木 ひとみ	特別支援教育 研究グループ 林崎 真衣 千葉 耕太 鈴木 詩子 鈴木 由佳子	理科教育 研究グループ 菊池 信孝 相川 純 中館 一総 高橋 寿明
休憩・移動						
時間	分科会Ⅲ	分科会①	分科会②	分科会③	分科会④	分科会⑤
13:35 ～14:00	実践力向上研究 研修員の発表 (15 分) 質疑応答 (5 分) 感想フォーム記入 (5 分)	中/外国語 門馬 直史	小/国語 小松 美穂	中/理科 三浦 深志	小/算数 千葉 しづえ	小/社会 中津川 智
休憩・移動						
14:10 ～14:35		小/外国語 渋谷 美香	小/国語 千葉 直人	小/体育 武山 祐太	中/数学 大塚 諒	中/特別支援 高橋 達也
休憩・移動						
14:45 ～15:10		小/総合 千葉 優樹		高/理科 浅野 江里	小/算数 小山 聡太	支援/道徳 伊藤 有似子
15:15 ～15:25	【閉会行事】	分科会会場ごとに閉会行事				

《紙上発表》 課題解決研修 (令和 4 年度 長期研修 実践力向上研究)

R4 実践力向上 研究研修員	齋藤 誠眞	早川 明宏	高野 弓絵	岡本 綾子	遠藤 仁樹
	高橋 有紗	後藤 志保	佐竹 諭美	山田 怜治	中澤 麻里
	阿部 哲也	佐々木 大堯	工藤 孝幸	菊地 寛	尾形 大

令和5年度長期研修研究主題・副題一覧

【専門研究】 期間：1年間

探究的な学習研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
佐藤 希利子	白石市立東中学校	主体的・協働的に学び続ける力を育む探究的な学習の在り方 ー探究の過程を取り入れた各教科での授業づくりを通してー
伊藤 剛	大崎市立古川第二小学校	
横山 亮	南三陸町立志津川中学校	
山田 直人	宮城県古川黎明高等学校	

生徒指導研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
原 勇太	亘理町立亘理中学校	児童生徒が自ら主体性を高めるための発達支持的生徒指導に関する研究 ー特別活動における教員の働き掛けを通してー
成瀬 郁恵	栗原市立築館小学校	
本田 祥大	東松島市立矢本第一中学校	
佐藤 文	宮城県立視覚支援学校	

理科教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
佐藤 貴宏	大崎市立松山中学校	問題解決の過程における「検討して改善する力」の育成 ー児童が自分の考えをより科学的な考えに変容させる授業づくりパッケージの活用・充実を通してー
千葉 明	登米市立米山中学校	
横田 英里	石巻市立中津山第二小学校	
後藤 正憲	宮城県一迫商業高等学校	

教育の情報化研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
櫻井 大志	名取市立みどり台中学校	児童生徒のプログラミング的思考を育む学習活動の推進 ープログラミング教育パッケージ「みやプロGo!」の開発とその活用の提言を通してー
五十嵐 学美	多賀城市立山王小学校	
菅原 翔太	大崎市立岩出山中学校	
小澤 裕佳子	宮城県仙台南高等学校	

特別支援教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
佐藤 博徳	大河原町立金ヶ瀬中学校	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対するチームで行う校内支援の充実 ー話し合いサポートツールの作成と活用を通してー
森 大造	富谷市立あけの平小学校	
細川 千春	宮城県立名取支援学校	
村上 加奈子	宮城県立角田支援学校白石校	

【実践力向上研究】 期間：20日間

氏名	所属校	教科・領域	研究主題・副題
小松 美穂	角田市立横倉小学校	国語	自分の考えを持ち、考えを深めることができる児童の育成 －説明的な文章における文章構造からの内容把握と考えの交流を通して－
門馬 直史	大河原町立大河原中学校	外国語	英語で自分の思いや考えを表現し合う力を伸ばす学習指導を目指して －話す活動における達成リストの活用とSmall Talkの充実を通して－
中津川 智	大和町立小野小学校	社会	社会的な見方・考え方を働かせ、自分の考えを表現する児童の育成 －小学校社会科における身近な素材を活用した問題解決的な学習過程の充実を通して－
高橋 達也	富谷市立富谷第二中学校	特別支援教育	全ての生徒が前向きに取り組める体育の授業づくり －焦点化、多感覚化、共有化の視点を通して－
渋谷 美香	利府町立菅谷台小学校	外国語	英語を用いて自分の思いを整理し、目的に応じて表現できる児童の育成 －言語活動の工夫、振り返り、フィードバックのサイクルを取り入れた授業を通して－
三浦 深志	大崎市立古川中学校	理科	科学的な思考力、判断力、表現力を育む学習指導 －学習のつながりを意識させ、授業ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを通して－
千葉 直人	栗原市立若柳小学校	国語	児童が書くことの喜びを感じられる授業を目指して －「書くこと」における単元構想の工夫と効果的な対話を通して－
千葉 しづえ	栗原市立高清水小学校	算数	分かる喜びを味わい、主体的に学習に取り組む児童の育成 －算数科の授業における協働的な学びを充実させる指導の工夫を通して－
大塚 諒	涌谷町立涌谷中学校	数学	粘り強く数学の学習に取り組む生徒の育成 －探究的な活動を取り入れた単元計画・授業構想の工夫を通して－
武山 祐太	石巻市立住吉小学校	体育	運動の楽しさや喜びを味わえる授業づくり －児童の「できた」「分かった」に働き掛けるPDCAサイクルの構築を通して－
小山 聡太	登米市立南方小学校	算数	できる・分かる喜びを味わい、自ら学びに向かう児童の育成を目指して －算数科におけるICTを活用した個別最適な学びの充実を通して－
千葉 優樹	登米市立東郷小学校	総合的な学習の時間	自分の町のよさを発信できる子供の育成 －地域の農業との関わりを深める探究的な学習を通して－
浅野 江里	宮城県利府高等学校	理科	生物や生物現象に関する思考力を高め、主体的に探究しようとする生徒の育成を目指して －課題の発見と解決を意識した授業の工夫を通して－
伊藤 有似子	宮城県立拓桃支援学校	道徳	他者と関わり自己を見詰め、考えを深める道徳の授業を目指して －多様な考えに触れ、思考を高め共有するためのICT機器の活用を通して－

令和5年度課題解決研修研究主題・副題一覧

【令和4年度長期研修員（専門研究）】

探究的な学習研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
中村 希	大和町立大和中学校	主体的・協働的に学び続ける力を育む探究的な学習の在り方 －総合的な学習（探究）の時間での授業づくりを通して－
高橋 司	大崎市立古川西小中学校	
佐藤 祐司	気仙沼市立大谷小学校	
山岸 崇	宮城県宮城第一高等学校	

生徒指導研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
舟山 武	角田市立角田中学校	児童生徒の安心感を高める学級経営に関する研究 －生徒指導の4つの視点を生かした児童生徒への働き掛けを通して－
菅原 麻衣子	石巻市立住吉中学校	
宇都宮 康弘	宮城県松島高等学校	
鈴木 ひとみ	宮城県立古川支援学校	

理科教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
菊池 信孝	富谷市立富谷小学校	児童の「観察・実験に関する基本的な技能」の育成を目指して －研修パッケージ「観察・実験編」を活用した教員の指導力向上への支援を通して－
相川 純	加美町立中新田小学校	
中舘 一総	涌谷町立涌谷中学校	
高橋 寿明	宮城県仙台第三高等学校	

教育の情報化研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
齋藤 裕直	白石市立白川小学校	ICTを活用して「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す学習活動の推進 －学習支援Webサイト「Withタブレ」の作成とその活用を通して－
原 健一郎	山元町立山下小学校	
小野寺 陽	東松島市立大曲小学校	
鈴木 寛之	宮城県農業高等学校	

特別支援教育研究グループ

氏名	所属校	研究主題・副題
林崎 真衣	利府町立利府第三小学校	知的障害教育における「育成を目指す資質・能力」を踏まえた学習指導と学習評価 －キャリア発達段階の視点を含む指導内容・方法による授業づくりを通して－
千葉 耕太	栗原市立築館小学校	
鈴木 詩子	宮城県蔵王高等学校	
鈴木 由佳子	宮城県立小松島支援学校	

【実践力向上研究】 期間：20日間

氏名	所属校	教科・領域	研究主題・副題
齋藤 誠眞	白石市立大平小学校	特別活動	一人一人の思いや願いを尊重し合える学級づくり －学級活動の話合い活動における効果的なICT活用を通して－
早川 明宏	白石市立白石中学校	数学科	自分の考えを表現する力を育てる指導の在り方 －数学的活動の工夫とICT活用を通して－
高野 弓絵	白石市立福岡中学校	外国語科	主体的に英語で自分の思いや考えを伝え合う生徒の育成を目指して －単元学習計画の作成・活用と自己の学びを追究する時間の設定を通して－
岡本 綾子	多賀城市立多賀城小学校	国語科	児童一人一人が、伝え合う楽しさを味わうことのできる授業を目指して －話型や友達のモデルを手掛かりとした「話すこと・聞くこと」の授業づくりを通して－
遠藤 仁樹	富谷市立東向陽台小学校	特別支援教育	学びを自己調整しながら学習に取り組む児童の育成 －算数科におけるUDLの視点を取り入れた授業改善を通して－
高橋 有紗	栗原市立宮野小学校	外国語科	児童が主体的に英語を学び、学びをコミュニケーション活動に生かそうとする授業を目指して －外国語科における学習者用タブレットによる学習記録の蓄積と活用を通して－
後藤 志保	栗原市立志波姫中学校	国語科	互いの気付きを学びに生かせる生徒の育成 －「書くこと」指導における対話・共有の活動を通して－
佐竹 諭美	石巻市立釜小学校	国語科	自ら学びに向かい読みを深める児童の育成 －文学的文章における問いを立て読みの交流を図る単元構想の工夫－
山田 怜治	石巻市立鹿妻小学校	理科	自然の事物・現象に興味を持ち、主体的に問題解決しようとする児童の育成 －「問題づくり」を取り入れた自然の事物・現象の提示の工夫を通して－
中澤 麻里	石巻市立北上中学校	音楽科	音楽のよさや楽しさを味わえる授業づくりを目指して －鑑賞における表現活動を効果的に取り入れる授業構成の工夫－
阿部 哲也	登米市立西郷小学校	算数科	自分の考えを数学的に表現できる児童の育成 －問題解決における対話的な学びを取り入れた活動を通して－
佐々木 大堯	南三陸町立入谷小学校	体育科	どの児童も満足感を味わうことのできる授業を目指して －ボール運動領域において課題を共有し、課題解決を図る学び合いを通して－
工藤 孝幸	南三陸町立歌津中学校	理科	理科の見方・考え方を働かせて、深い学びを実現する授業を目指して －ICTを活用した論理的思考力を高める指導の工夫を通して－
菊地 寛	宮城県泉松陵高等学校	数学科	粘り強く学習に取り組む、よりよく問題を解決しようとする生徒の育成を目指して －数学科の授業における個別最適な学びと協働的な学びを往還させる指導の工夫を通して－
尾形 大	宮城県石巻西高等学校	教科情報	ICTを効果的に活用した問題発見・解決能力の育成を目指して －科学技術に慣れ親しむ機会を取り入れたスモールステップによるプログラミング教育－